

朱鷺メッセ連絡デッキ落下事故 裁判の行方

--- 新潟県が提訴した損害賠償裁判を戦い抜く ---

平成 24 年 6 月

主催 東京構造設計事務所協会 (ASDO)
後援 日本建築構造設計事務所協会連合会(FASA)
建築基本法制定準備会

2012 年 3 月 26 日朱鷺メッセ連絡デッキ落下事故をめぐる訴訟の判決が下された。「事故原因の立証ができていない」として、原告の新潟県の損害賠償の訴えを退けた。

2003 年 8 月 26 日朱鷺メッセ連絡デッキが落下した。翌年、2004 年 9 月から裁判が開始され判決まで 7 年半の歳月が流れた。その間、SDG・渡辺氏は膨大な応力解析を行うと同時に、独自で現地実験や実大実験を行うなど原因究明のために奔走してきた。しかし、渡辺氏が目指していた原因究明はコンピュータの中では完成したがそれを実証する実物実験にまでにはいたらなかった。いまだに新潟県が実物実験試験体の提供を拒否しているからである。

裁判を通してのSDG・渡辺氏の行動から、構造エンジニアは技術的な力は当然必要であるが、権威や権力という、いわゆる社会に立ち向かう力と認めさせる力も必要であることに気付かされた。

今回の講演で

- ・ 裁判の中で技術的な論争が繰り返されるものの、なぜ判決に反映されなかったのか。
- ・ 権力組織と権威組織の連合体に小さな構造設計事務所がどのように戦い抜いてきたのか。
- ・ 構造エンジニア、構造関連団体および建築業界はどうあるべきか。

などについてお話をうかがいます。

以上

記

講師 : 構造設計集団・SDG 渡辺邦夫 氏

日時 : 2012 年 8 月 3 日(金) 受付 13 時 30 分 ~
講演 14 時 ~ 17 時
討論 17 時 ~ 18 時

場所 : 日大理工学部駿河台校舎 1 号館 121 号教室

会費 : 正会員・準会員・賛助会員・会員事務所所員・後援団体所属会員 ￥1,000
非会員 ￥2,000 学生 無料

懇親会 : バイキング方式(会場は日大理工学部 1 号館 2F カフェテラス)
18 時から 2 時間ほど ￥3,000 程度で計画中

会費は当日お支払ください。なお定員になり次第締め切ります。

参加希望の方は記入の上、FAX にて下記まで申し込み下さい。
受付票をFAXにて返信いたしますので、当日、ご持参ください。

申込締切 2012年7月23日(月)
TEL 03-3406 3615

(株)星野建築構造設計事務所
送付先 FAX 03 3406 3614

東京構造設計事務所協会 御中

2012年 月 日

8月3日開催の「朱鷺メッセ連絡デッキ落下事故 裁判の行方」講演会に参加を申し込みます。

FAX _____ 氏名

所属

会員種別 (正準賛助)会員 後援団体関係 非会員 学生

懇親会 会費 3000円程度で計画中

参加します

参加できません

日本大学理工学部駿河台校舎1号館 案内図

